

令和7年3月定例教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時：令和7年3月5日（水）15：30～16：18
2. 場所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室
3. 出席委員：長谷川教育長 木村教育長職務代理 小山委員 松下委員 松本委員 狩浦委員
4. 欠席委員：なし
5. 出席職員：教育部長 桐原誠、教育総務課長 吉永ゆかり、学校教育課長兼主幹指導主事 今橋修、生涯学習推進課長 樋口武史、青少年育成課長 吉永誠、文化課長 柴田博樹、学校給食センター所長 野田高弘、教育総務課庶務係長 波多江由美
6. 傍聴者：なし

7. 会議内容

1. 開会

【木村議長】15時30分、開会を宣言。

2. 教育長あいさつ

開会にあたり長谷川教育長があいさつ

3. 会議録の署名委員の指名について

【教育長】会議録署名委員は会議規則第28条の規定により教育長及び会議で決めた委員1名となっておりますので、木村職務代理を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

4. 会議の非公開について

【木村議長】本日の会議は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項にもとづき基本公開としますが、第9号議案、県費負担教職員の進退にかかる内申について」は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条7項の規定により非公開としたいと思います。同法第14条第7項及び第8項の規定により、可否の決定を行います。非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いします。

【委員】（全員挙手）

【木村議長】挙手全員です。第9号議案は、公開しないことに決定します。また、審議についてはすべての議事の終了後に行います。

5. 諸報告

（1）教育長報告

なし

（2）教育委員情報交流

なし

（3）教育委員会報告

①令和7年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について

②古賀市スポーツ推進員の委解職について

6. 議案

【木村議長】今から審議に入りますが、議案の朗読は省いていただき、提案される議案の要点だけを説明していただきたいと思います。順に議案の審議を行いますので、説明をお願いします。

第10号議案 令和7年度古賀市教育行政の目標と主要施策について（教育総務課長・議案説明）

【木村議長】ご質問等ありますか。

【狩浦委員】8ページの主要施策3(2)③の教育センターへの通級が難しい児童生徒への訪問型支援の充実について、どのような立場の人が、どのような形で行うのかを詳しく教えてください。

【木村議長】学校教育課長お願いします。

【学校教育課長】教育支援センター「あすなろ」に入級している生徒で、なかなか「あすなろ」に足が向かない生徒に、保護者と相談して本人が望めば、週1回程度あすなろの指導員がお家に向いて指導やお話をさせていただくという制度でございます。

【松本委員】3点肯定的建設的な意見です。1点目は15ページの(2)戦後80年を契機とした企画展。今年は戦後80年で、先の大戦の被害の事実、また加害の事実を直視して、平和への展望を問いかけるような市民にとって非常に平和への願いが高まるような企画展にさせていただきたいと思っております。それから2点目は16ページのリーパスカレッジについて、私も今年度6回参加させていただいて、市民の皆さんのニーズにこたえる多彩な講座で、素晴らしい企画案だと思っております。良さの1つは近いことですぐに行ける、2つ目は300円で安い、3つ目は内容の充実がたくさんの方が応募されてる理由じゃないかなと思います。リーパスカレッジの内容で地域との連携が進んでいくことを、来年度の充実を期待しています。3つ目は11ページの給食センターの見学ですが、春休みと小学校2年生が見学、子どもたちが実際に給食を作ってくださっているところを見学することは、子どもたちにとっては働く人の姿を見ることで、感謝や食への関心が高まり、非常に効果があると思っておりますので、ぜひ継続していただきたいと思います。最後に総論ですが、来年度の目標と主要施策に関して、教育部の皆さんは、いろんな学校教育、社会教育の課題をチェックして整理されて、新たな課題の解決策を盛り込んでおられる。毎年非常に苦労という大変だと思うんですが、教育長、教育部長の古賀市の教育に対する理念を深く理解されて、いろんな工夫、アイデアを出されて、先取していく教育施策を考えられるスタッフの皆さんに、感銘しております。以上です。

【木村議長】第10号議案は原案可決としてよろしいですか。(はい)

第10号議案は原案可決します。

第11号議案 古賀市公民館類似施設整備費補助金交付要綱の一部を改正する告示について

(生涯学習推進課長・議案説明)

【木村議長】ご質問等ありますか。

【小山委員】はい。まず公民館以外でどういう施設があるか。補助率と補助金額の上限、もう1点は土地の購入の場合、所有者は行政区所有になるのか。改修の場合の補助率と補助金額の上限も教えていただきたい。

【生涯学習推進課長】対象となる施設は、地域にある自治会が所有している公民館で、公民館以外は特にありません。補助率と補助金は、新築工事の場合、補助率が45%。上限が1800万円です。

リアフリー工事をした場合は上乗せになり、補助率は50%。上限が2000万円。増改築工事も補助率は同じで45%、上限は225万円、同様にバリアフリー工事をした場合は50%となって、250万円上限となります。用地を購入する場合、こちらは補助率80%で上限が1600万円。土地の購入時の補助金交付要件に所有名義の確認はありません。現時点の対応は、行政区が認可地縁団体登録をされて、行政区名義での登記をお願いしているという状況です。

【木村議長】他にご質問はありますか。（特になし）第11号議案は原案可決としてよろしいですか。（はい）

第11号議案は原案可決します。

7. 協議事項

【木村議長】協議事項はありません。

8. その他事項

（1）各課報告

教育部長

・職員の人事異動について

（教育部長が報告）

教育総務課

・総合教育会議について

（教育総務課長が報告）

学校教育課

・児童生徒指導状況について

・あすなろ教室の卒級式

（学校教育課長が資料により報告）

生涯学習推進課 なし

文化課 なし

青少年育成課 なし

学校給食センター

・防災食の試食について

（学校給食センター所長が報告）

【木村議長】各課報告についてご質問はありますか。先日配布していただきました防災食についての感想をお聞かせください。

【松下委員】期間は決まりましたか。

【学校給食センター所長】期間は、令和7年7月7日から23日の12日間です。

【木村議長】皆さん一言ずつ、感想を聞かせていただきたいと思います。

【狩浦委員】私はリゾットと根菜汁をいただきました。味は非常食としては、すごくおいしく感じました。ただおいしい給食を食べ慣れている子どもたちは12日間続くと、ちょっとは不平も出てくるのかなとは思いますが、教育長から安心安全面で最善策と伺ってるので、子ども達も我慢が必要なところかなと思います。分量は今回いただいたのは小さい方のサイズで、中学生の量が足りるのかと思ったので、組み合わせなど工夫していただければと思います。

【松下委員】はい。私はコーンポタージュとリゾットをいただきました。ほんと美味しかったです。組み合わせはどうなるのですか。

【給食センター所長】パンと牛乳とデザートとの組み合わせを予定しています。

【松下委員】特に小学校の低学年の子どもたちが、最後までスプーンですくって食べれるかという不安要素は感じました。私はアツアツの状態美味しくいただいたんですけど、ぬるい状態で12日間はどうだろうっていうのが正直な思いです。またせっかくの機会なので、家庭科で昼食に関わる授業があれば、その期間に入れてもいいのかなと思いました。

【松本委員】私も2つ食べて、おいしいと思いました。食べながら別の視点から考えまして、教育的な視点として、担任の先生や校長から被災地の方へ思い、保存食を食べながら、被災された方への思いや苦労などのお話を一緒にやっていただいたり、また、もし自分たちが災害に遭ったときは、やはりこういった非常食を食べて耐えて頑張ろうという心構えを話していただくいい機会じゃないかなと思っておりますので、校長会でも伝えていただいて、子どもたちにとってただ食べるだけではなく、保存食を食べる体験を通して、被災地の方への思いや苦労を想像する心情も高めていただきたいと思います。

【小山委員】私もカレーとコーンポタージュを小学生の孫の母と一緒に食べたのですが、カレーは子どもの食べているカレーの味に似ていて大丈夫そうでした。何種類の予定ですか。

【学校給食センター所長】7種類あると聞いていますが、保存食なので、在庫の関係があります。

【小山委員】もう1点、低学年は封がきれいに切れるか、切る途中で落としてしまうかもしれません。予備は用意しますか。

【学校給食センター所長】予備は、用意させていただこうと思っております。

【木村議長】私はカレーと根菜汁を試食させていただきました。カレーは子ども向けの味で、甘くておいしいなと思いました。根菜汁もとても美味しくいただきました。封を切るときになかなか力が要るから、低学年の子はハサミを使って上手に切る指導をしないと難しいかなというのと、レトルトパックのままでは、パックをうまく広げてないとバタッと倒れるんじゃないかという心配があります。根菜汁はどうしてもスプーンだけでは最後まで食べれなくて、口をついたら切れることがあると書いてあって、どうやって食べようか悩みましたので、危なくないように先生からご指導いただけるといいと思いました。松本委員と同様に、防災食としての意味も子どもたちに指導できたらいいかなと感じたところです。温めて運ぶのも今までと違う作業になるので、センターの方も大変なんじゃないかなということも感じました。

【教育長】私もリゾットとカレーの2種類を食べました。昼は日頃からおにぎり1つで過ごして、150グラムで牛乳もパンもいらない量的にはいいかなと思いますけども、中学生や6年生は、牛乳・パン・デザートでちょうどいいぐらいかなと思います。松本委員が言われたように、日頃食べているもののありがたさがわかるような、なおかつ非常においしいということと、非常食を年に1回とか食べている自治体もあるようですが、古賀市は今までないので、ご家庭への周知も含めて本当に事前の学習が非常に大事で意義があると思います。これに至るまで家から弁当を持ってくるという考えもありました。それから市内の食品工業団地の弁当やおにぎりを扱うところをお願いしたらどうかとか、或い

はセンターで作って食器を使い捨ての紙皿にしたかどうか、センターを中心に本当に考えてもらいましたけども、家からの弁当は、この2・3年長期休業も短くなって、給食が増えたことへの感謝の声を聞くと、12回とはいえご家庭にご迷惑かけるのはいかがかと、12回減ったとしても近隣の自治体の給食提供回数とほぼ一緒になりますけど、やっぱり避けたほうがいいだろうと。それから、夏場で食中毒の問題、これが一番心配で、弁当とかおにぎりを頼むとかはできない。給食センターで作って配食をして、紙皿にしてもSDGsの問題があります。給食センターに栄養士さんもおられるので任せますので、いい組み合わせを作って、子どもたちも喜ぶし、非常にいい経験をしたということで、保護者の方も子どもたちも喜ぶような、12回分の配食にしてもらえればと思います。よろしくお願いします。

【木村議長】大変と思いますが、子どもたちが何とか良い方法に繋がればいいなと思います。

(2) その他

教育総務課長（行事予定の説明）

庶務係長（定例会のスケジュール）

9. 閉会

議長が閉会を宣言し、16時18分閉会した。

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

令和 7 年 4 月 25 日

教育長

長谷川清孝

署名委員

木村真由美